

令和2年度

事業報告書

令和2年度事業報告

I 組織と運営の状況

1. 会議等に関する事項

幹事会・運営委員会・監査会

開催日	会議名	会場	主な内容
令和2年 5月28日	第218回 幹事会	書面議決	・令和元年度事業報告並びに決算報告の承認に関する件 ・教育研究助成事業規程及び教育文化事業規程の運用について承認する件
令和2年 11月26日	第219回 幹事会	埼玉教育会館	・令和2年度上半期事業報告並びに上半期決算報告の承認に関する件 ・令和2年度「高校生等の奨学金給付事業」(臨時募集)の承認に関する件 ・令和2年度「教育研究助成事業」及び「教育文化事業に係る選考委員会での選考結果の決議に関する件
令和3年 3月16日	第220回 幹事会	埼玉教育会館	・令和2年度「教育研究助成」のうち「はばたき」応援プロジェクトに係る選考委員会での選考結果の決議に関する件 ・令和2年度補正予算案の承認に関する件 ・令和3年度事業計画案並びに収支予算案の承認に関する件 ・運営委員の選出に関する件 ・役員の選出に関する件
令和2年 5月26日	第128回 運営委員会	書面議決	・令和元年度事業報告並びに決算報告の承認に関する件
令和2年 11月24日	第129回 運営委員会	埼玉教育会館	・令和2年度上半期事業報告並びに決算報告の承認に関する件 ・令和2年度「高校生等の奨学金給付事業」(臨時募集)の承認に関する件
令和3年 3月9日	第130回 運営委員会	書面議決	・令和2年度補正予算案の承認に関する件 ・令和3年度事業計画案並びに収支予算案の承認に関する件 ・幹事・監査の選任に関する件
令和2年 5月22日	監査会	埼玉教育会館	・令和元年度事業報告並びに決算報告に関する件
令和2年 10月30日	監査会	埼玉教育会館	・令和2年度上半期事業報告並びに中間決算報告に関する件

2. 教育振興事業選考委員会について

奨学金の貸与・給付及び研究・実践活動への助成等教育振興事業の適正な執行を図るため、委員会において、必要な事項について審査・選考を行いました。

資料 1 「令和2年度 教育振興事業選考委員会 委員名簿」

開催日	会議名	会場	主な内容
令和2年 5月11日	第1回教育振興事業選考委員会	書面による審査選考	令和2年度上期奨学金貸与者の審査・選考
令和2年 6月29日	第2回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	令和2年度教育振興事業及び教育文化事業の審査・選考
令和2年 7月28日	第3回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	令和2年度高校生等の奨学金給付事業の審査・選考
令和2年 12月7日	臨時教育振興事業選考委員会	書面による審査選考	令和2年度「高校生等の奨学金給付事業」 (臨時募集)の審査・選考
令和3年 3月15日	第4回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	令和2年度下期奨学金貸与者の審査・選考 令和2年度高校生及び中学生奨学金給付事業の審査・選考

II 教育振興事業

1. 奨学事業

(1) 貸与事業 (4月～3月)

大学等に進学する県内在住者に奨学資金として100万円まで無利息で貸与し、卒業後5年以内、(ただし貸与金が100万円の場合は7年以内)の年賦で返還する奨学事業を下記のとおり行いました。

貸与を希望する適格者全員に貸与いたしました。

(貸与奨学金事業は、日教弘本部の事業ですので、決算書には記載しておりません)

① 貸与の状況

		前年度末貸与	当年度貸与	当年度返還	年度末貸与者
令和2年度	人数	348名	33名	完済55名	326名
	金額	229,849,829円	28,250,000円	43,571,067円	214,528,762円
令和元年度	人数	370名	43名	完済65名	348名
	金額	239,682,473円	34,250,000円	44,082,644円	229,849,829円

② 奨学生の学校種別状況

年度	令和2年度		令和元年度	
	人数	金額	人数	金額
大学	29名	25,250,000円	37名	30,750,000円
その他	6名	3,000,000円	6名	3,500,000円
合計	35名	28,250,000円	43名	34,250,000円

※①と②で令和2年度の貸与者人数が異なるのは、②に追加貸与2名が含まれるためです。

(2) 給付事業 (4月～3月)

給付奨学金事業

本県に所在する国公私立高等学校・特別支援学校・中学校に在学する生徒で、原則として以下のア、イ、ウ、エに該当する者に、選考のうえ返還を要しない奨学金を給付しました。

ア、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または、②病気(交通事故等による怪我も含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため、公的支援を受けているが、生活が困窮している家庭の子どもで、修学の意欲が旺盛で、高等学校等へ進学する中学3年生のうち校長から推薦のあった者を対象としました。

審査・選考のうえ、1人5万円ずつ309名に1,545万円を給付しました。

年度	令和2年度	令和元年度
人数	309名	326名
金額	15,450,000円	16,300,000円

イ、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または、②病気(交通事故等による怪我也含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため、公的支援等を受けているが、生活困窮のために修学への意欲があるにもかかわらず、修学継続が困難となっている高等学校第2、3学年(定時制・通信制については相当学年)の生徒のうち校長から推薦のあった者を対象としました。特別支援学校にあっては、上記の学校に準ずる者を対象としました。

審査・選考のうえ、1人10万円ずつ95名に950万円を給付しました。

年度	令和2年度	令和元年度
人数	95名	91名
金額	9,500,000円	9,100,000円

ウ、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または②病気(交通事故等による怪我也含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため、公的支援等を受けているが、修学意欲が旺盛で、更に上級学校(国公立大学・短期大学・専修学校専門課程)へ進学する成績優秀な(評定平均値3.8以上)高等学校第3学年(定時制・通信制については相当学年)の生徒のうち、校長から推薦のあった者を対象としました。特別支援学校にあっては、上記の学校に準ずる者を対象としました。

審査・選考のうえ、1人20万円ずつ93名に1,860万円を給付しました。

年度	令和2年度	令和元年度
人数	93名	91名
金額	18,600,000円	18,200,000円

エ、上記ア～ウの他に臨時募集として、新型コロナウイルス感染症の影響により家庭の経済状況が悪化し、学資金の支払等が困難になっている者(他にも条件あり)で、修学意欲が旺盛な国公立私立高等学校及び特別支援学校高等部に在学する生徒のうち、校長から推薦のあった者を対象としました。

審査・選考のうえ、1人10万円ずつ110名に1,100万円を給付しました。

2. 教育研究助成事業

学校教育の充実・発展に寄与するため、以下の事業を行いました。

(1) 教育実践報告への助成

教育に関する実践報告を、県内の学校・教育機関の個人(グループを含む)または学校を対象として募集し、支部長が委嘱する「教育実践報告審査委員会」で審査・選考のうえ、優れたものに助成金を贈り表彰しました。

① 募集と審査

ア 令和2年4月1日付け文書及び教弘会報埼玉等による広報

イ 資料2「令和2年度 教育実践報告審査委員会 委員名簿」

開催日	会議名	会場	主な内容
令和2年 9月9日	第1回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	令和2年度教育実践報告審査及び選考方法について
令和2年 10月13日	第2回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	令和2年度教育実践報告審査・選考
令和2年 11月25日	教育実践報告・表彰式	埼玉県県民健康センター	令和2年度教育実践報告受賞者表彰式

② 応募状況

年度	学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合計
個人 (グループ含む)		17	10	3	10	0	40
学校		7	3	1	1	0	12
合計		24	13	4	11	0	52

③ 助成状況

※助成件数 45 件 助成金額 1,305,480 円

以下(2)～(8)・(11)～(13)・(17)の事業は、申請された学校・研究会等について、「教育振興事業選考委員会」で審査・選考のうえ、助成金を贈りました。

ア 令和2年4月1日付け文書による広報

イ 資料1 「令和2年度 教育振興事業選考委員会 委員名簿」

ウ 研究・実践に関する成果報告書・資料の提出を求めました。

(2) 学校研究への助成

助成状況

年度	学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和2年度		468	229	9	9	7	722	2,878 万円
令和元年度		570	253	29	8	8	868	3,536 万円

(3) 環境教育支援事業

助成状況

年度	学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和2年度		363	119	4	1	6	493	1,523 万円
令和元年度		386	137	6	1	12	542	1,694 万円

(4) 国際理解教育支援事業

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和2年度	54	15	13	1	1	84	269万円
令和元年度	59	22	24	2	0	107	336万円

(5) キャリア教育支援事業

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和2年度	34	64	15	4	0	117	366万円
令和元年度	26	77	20	4	0	127	400万円

(6) 防災教育支援事業

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和2年度	69	33	2	4	1	109	340万円
令和元年度	83	40	2	4	1	130	403万円

(7) ICT活用教育支援事業

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和2年度	160	86	12	14	2	274	867万円
令和元年度	109	35	10	13	0	167	528万円

(8) 「学び合い・高め合い」支援事業

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和2年度	521	236	16	8	0	781	2,397万円
令和元年度	466	214	11	8	0	699	2,150万円

(9) 研究・実践成果報告集9の刊行

教育研究助成事業の助成対象校(学校研究・環境教育・国際理解教育・キャリア教育・防災教育・ICT活用教育・「学び合い・高め合い」支援)の優れた研究・実践をまとめ、学校・教育機関等に計1,850部配付し、教育の振興に寄与しました。

(10) 交通安全教育への助成

児童・生徒の交通安全教育の推進に貢献するため「弘済会埼玉交通安全推進会」へ10万円の助成を行いました。

(11) 連合教育研究会等への助成

助成状況

令和2年度	45 団体	735 万円
令和元年度	47 団体	755 万円

(12) 全国・関東ブロック研究大会への助成

助成状況

令和2年度	3 団体	40 万円
令和元年度	9 団体	108 万円

(13) 教育関係団体への助成

助成状況

令和2年度	27 団体	633 万円
令和元年度	29 団体	648 万円

教育関係助成団体一覧

No.	団 体 名	No.	団 体 名
1	埼玉県公立小学校校長会	15	埼玉県高等学校定時制通信制副校長・教頭会
2	埼玉県中学校校長会	16	埼玉県事務主幹・事務主査会
3	埼玉県高等学校長協会	17	埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会
4	埼玉県公立小中学校教頭会	18	埼玉県養護教諭会
5	埼玉県高等学校等副校長・教頭会	19	埼玉県学校保健主事会
6	埼玉県公立高等学校事務職員会	20	埼玉県特別支援学級等設置校校長会
7	埼玉県公立小・中学校女性校長会	21	埼玉県学校栄養士研究会
8	埼玉県公立小・中学校女性教頭会	22	埼玉県高等学校等女性管理職の会
9	埼玉県特別支援学校校長会	23	埼玉教職員組合
10	さいたま市中学校校長会	24	埼玉高等学校教職員組合
11	埼玉県特別支援学校副校長・教頭会	25	さいたま教育文化研究所
12	埼玉県教職員組合	26	埼玉県国公立幼稚園・こども園長会
13	埼玉県高等学校教職員組合	27	埼玉県町村教育長会
14	埼玉県高等学校定時制通信制校長会		

(14) 教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会の開催(中止)

埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県都市教育長協議会及び埼玉県町村教育長会の後援の下、埼玉県教育の充実・発展に寄与することを目的として教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り止めました。

- 期 日 令和2年10月27日(火)
- 会 場 埼玉会館 大ホール
- 講 演 「心を込めて、当たり前を ～世界一清潔な空港でおもてなしを～」
- 講 師 日本空港テクノ株式会社 環境マイスター 新津春子 氏

(15) 公益財団法人日本教育公務員弘済会の「日教弘教育賞」募集へ協力して、研究実践論文2編を推薦しました。

(16) 公益財団法人東京海上日動教育振興基金の教育研究論文募集へ協力しました。

(17) 「はばたき」応援プロジェクトの実施

小学校6年生の卒業に向けた特色ある取組等の支援として、87校に総額261万円を助成しました。

(18) 新設校及び創立5周年該当校への助成 (助成は株式会社 埼玉教弘)

令和2年度新設校 吉川市立吉川中学校、創立5周年該当校 坂戸市立桜小学校に記念品を贈呈しました。

3. 教育文化事業

(1) 生涯学習実践作文の募集

- テーマ 生涯学習の実践 ～人生100年時代 私にできること～
- 募 集 募集案内の県内教育機関等への配布及びHP等での広報 応募28点
- 審 査 資料3 「令和2年度 生涯学習実践作文審査委員会 委員名簿」

開催日	会議名	会場	主な内容
令和2年 9月4日	第1回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	令和2年度生涯学習実践作文審査及び選考方法について
令和2年 10月9日	第2回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	令和2年度生涯学習実践作文審査・選考
令和2年 11月25日	生涯学習実践作文表彰式	埼玉県県民健康センター	令和2年度生涯学習実践作文表彰

応募・助成状況

応募数	助成数	助成金額
28	15	441,370円

(2) 教育文化講演会(地域教育研究会主催)に対する助成

助成状況

令和2年度	0団体	0万円
令和元年度	12団体	156万円

(3) 教育文化事業並びに「弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフル コンサート」への助成

資料1「令和2年度 教育振興事業選考委員会」で審査・選考のうえ、助成しました。
研究・実践に関する成果報告書・資料の提出を求めました。

助成状況

令和2年度	30 団体	291.4 万円 ※
令和元年度	35 団体	646 万円

※令和2年度は演奏使用料を含む。

(4) 教弘文庫の刊行と配布

令和元年度募集した「教育実践報告」「生涯学習実践作文」から優れた実践報告・実践作文並びに地域教育研究会等が実施した「教育文化講演会」の講演要旨を集録した教弘文庫を刊行し、各学校・教育機関等へ贈呈いたしました。

	刊行部数	刊行日
教弘文庫 110 「教育実践報告集 51」	2,200 部	4 月 24 日
教弘文庫 111 「教育文化講演集 36」	4,000 部	4 月 24 日
教弘文庫 112 「生涯学習実践作文集 30」 生涯学習の実践 ～私と地域とのかかわり～	16,000 部	4 月 24 日

Ⅲ 福祉事業

1. 福利厚生

(1) 厚生施設利用の促進

- ① 紀州鉄道・リステル・東急ハーヴェストクラブの法人会員権に基づく利用券を効率的に活用します。なお、令和2年度より夏季休業期間中の東急リゾート借上げ施設の提供を廃止しました。
- ② 宿泊等福利厚生施設の広報に努め、利用の促進を図りました。

宿泊施設の利用状況(4月～3月)

施設名	2年度	元年度	増減	施設名	2年度	元年度	増減
伊豆山	0	2	△2	博多	0	0	0
一碧湖	9	14	△5	大阪梅田	0	0	0
中伊豆	0	0	0	那須塩原	11	103	△92
房総白浜	40	73	△33	八ヶ岳	6	2	4
裏磐梯	0	0	0	淡路島	0	2	△2
猪苗代	3	37	△34	メルヴェール箱根強羅	2	31	△29
浜名湖	0	5	△5	東急那須	67	129	△62
草津温泉	0	0	0	○ 雄山閣	3	—	3
軽井沢	14	57	△43	○ レイクリゾート	6	—	6
信州塩嶺	0	9	△9	○ ベルナティオ	4	—	4
琵琶湖	0	15	△15	○ セタスロイヤル	2	—	2
伊勢鳥羽	0	10	△10	○ 万葉亭	6	—	6
鳴子	0	0	0	○ ゆとりろ	3	—	3
南紀白浜	0	0	0	◎ 東急旧軽井沢		58	△58
米子皆生	0	0	0	◎ 東急蓼科		57	△57
江ノ島	0	11	△11	◎ 東急裏磐梯		42	△42
箱根強羅	0	4	△4	◎ 東急伊東		56	△56
日本橋	0	0	0	◎ 東急那須		56	△56
名古屋	0	0	0	合計	176	773	△597

※ 令和元年度については、夏季休業中、◎印5施設70室を借り切り、教職員の利用に供しました。

※ ○は令和2年度夏のおすすめ施設として提供しました。

(2) 宿泊施設等の利用と補助

広報誌等を通して協定している旅館・民宿等の利用促進に努めました。

① 旅館・ホテル利用人数（4月～3月）

所在地	年度 名称	令和2年度			令和元年度		
		本人	家族	合計	本人	家族	合計
新潟	グリーンピア津南	12	0	12	19	4	23
	吉野屋	0	0	0	1	1	2
	高半ホテル	2	0	2	16	0	16
福島	ホテルうお昭	0	0	0	3	0	3
	ホテル飛天	0	0	0	3	1	4
栃木	明賀屋	0	0	0	0	0	0
	柏屋	7	1	8	3	0	3
群馬	松本楼	3	3	6	4	27	31
	栄泉閣	0	0	0	0	0	0
	ホテル聚楽	5	0	5	18	8	26
	妙義グリーンホテル	40	3	43	97	23	120
茨城	磯原シーサイドホテル	0	0	0	1	3	4
長野	荻原館	0	0	0	3	2	5
	(小計)	69	7	76	168	69	237

② 民宿・ペンション等利用人数（4月～3月）

所在地	年度 名称	令和2年度			令和元年度		
		本人	家族	合計	本人	家族	合計
埼玉	はまだ	0	0	0	8	0	8
	宮本荘	6	3	9	8	0	8
群馬	ツツミスクエア	3	0	3	4	4	8
新潟	たきもと	0	0	0	15	18	33
	でんき屋	14	3	17	4	0	4
長野	ラディッシュガーデン	1	1	2	1	1	2
	コンパス	14	0	14	12	0	12
	ビー坊	0	0	0	0	0	0
	リスの森	0	0	0	4	0	4
	GROVE	0	0	0	10	0	10
千葉	千倉民宿	0	0	0	0	0	0
	オートキャンプ場	11	15	26	37	79	116
	(小計)	49	22	71	103	102	205
	日教弘指定施設	48	11	59	119	41	160
	総合計	166	40	206	390	212	602

③ 補助人数（4月～3月）

金 額		年 度	
		令和2年度 人数	令和元年度 人数
教弘保険加入者	3,000 円	102 名	390 名
教弘保険加入者 (7月～8月利用者)	5,000 円※	64 名	
合 計		166 名	390 名

※令和2年度から7月～8月の2ヶ月間のみ、協定宿泊施設を利用する教弘保険加入者は、1泊につき宿泊補助額を2,000円増額し5,000円としました。

補助額 626,000 円

2. 生涯福祉推進事業

- (1) 校長会代表と弘済会との「教職員の生涯福祉を考える教育懇談会」を7月21日(火)、埼玉教育会館に於いて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り止めました。(経費は株式会社 埼玉教弘)
- (2) 介護福祉施設(ALSOK 介護(株))の紹介事業を行っています。

3. 祝品・記念品の贈呈

- (1) 教弘保険継続者への記念品の贈呈(図書カード)(助成は株式会社 埼玉教弘)
教弘保険継続者(5年・10年・15年・20年・25年・30年)に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

人数	5年	10年	15年	20年	25年	30年	合計
2年度	1,147	840	525	205	318	294	3,329名
元年度	1,178	893	446	249	311	254	3,331名

贈呈額 6,558,130 円

- (2) 友の会入会記念品の贈呈(商品券)(助成は株式会社 埼玉教弘)

退職後、教弘保険料の支払方法変更手続きをされた教弘保険加入者に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

年度	令和2年度	令和元年度
人数	998名	1,100名

贈呈額 2,994,000 円

(3) 結婚祝品の贈呈 (商品券)

結婚された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

年度	令和2年度	令和元年度
人数	557名	581名

贈呈額 2,785,000 円

(4) 出産祝品の贈呈 (図書カード)

お子さんが誕生された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

年度	令和2年度	令和元年度
人数	743名	812名

贈呈額 2,195,565 円

(5) スポーツ観戦チケットの贈呈

現職の教弘保険加入者(10口以上)に浦和レッズ、公式試合観戦チケット(SS席を各試合1ペア分)及びプロ野球埼玉西武ライオンズ主催公式戦チケット引換券(2枚一組)を申込抽選により贈呈する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、チケットの取扱いが中止となり贈呈を取り止めました。

4. 健康保持増進

(1) 人間ドック受診者への補助

①現職教弘保険加入者

人間ドック・婦人科検診または脳ドックを受診した教弘保険加入者にはその1種類(年度内1回)について、個人負担金の一部を基準により補助しました。

補助人数

年度 金額	令和2年度	令和元年度
	人数	人数
5,000円	3,772名	4,134名
3,000円	1,446名	1,789名
2,000円	69名	101名
その他	202名	277名
合計	5,489名	6,301名

②退職教弘保険加入者(友の会会員)

友の会会員で生活習慣病予防巡回健康診断の補助を受けていない人が、人間ドックまたは脳ドックを受診したときに、年度内で1回に限り、5,000円の補助を行いました。

補助人数

年度	令和2年度	令和元年度
人数	2,347名	2,459名

① + ② 補助額 35,516,226円

(2) 生活習慣病予防巡回健康診断の実施及び補助

退職教弘保険加入者の生活習慣病予防のため、県下14会場において健康診断を実施し、受診者には費用14,688円(税込)のところ5,000円の補助を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためを取り止めました。

年度	令和2年度	令和元年度
人数	0名	852名

(3) 大腸がん予防検診の実施

退職教弘保険加入者とその家族を対象に一般財団法人日本健康増進財団の検診案内を送付し、597人が受診しました。

(協定料金 2,900円 税込)

(4) ウオーキング(歩け歩け)運動への参加支援

当支部が埼玉県ウオーキング協会の賛助会員となり、教職員の歩け歩け運動への参加による健康づくりを支援しました。

5. 弘済会埼玉友の会活動の推進

高齢化社会にあって、退職後の生活設計は一層重要となっています。退職後をどう生きるか、どのような生き甲斐を見つけるか、共に考え、活動してきました。

(1) 組織

退職後も継続した教弘保険加入者で組織し、本部と支部が一体となって活動を進めています。

令和3年4月現在、14支部、790班、(世話人700人)、会員14,347人です。うち、準会員は317人です。

(2) 運営

全県世話人会、幹事会、支部総会等を新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止としました。

支部組織の運営充実のため、14支部へ支部運営費助成金として2,682,520円、支部総会助成金として98万円、友の会だより配布助成金として2,447,948円、支部会員名簿作成助成金として13万円、支部会報発行助成金として7万円、クラブ活動補助金として6万円の助成を行いました。

開催日	会議名	場 所
令和2年5月15日	全県世話人会 (中止)	大宮ソニックシティ
令和2年7月22日	幹事会 (中止)	埼玉教育会館
令和3年1月21日	常任幹事会 (中止)	埼玉教育会館
令和2年6月4日	北足立南支部総会 (中止)	ジブラルタ生命保険(株)川口営業所
令和2年6月3日	北足立中支部総会 (中止)	埼玉教育会館
令和2年5月23日	大宮支部総会 (中止)	さいたま市高鼻コミュニティセンター
令和2年6月5日	北足立北支部総会 (中止)	上尾プラザ22
令和2年6月3日	入間東支部総会 (中止)	川越西文化会館 (メルト)
令和2年6月4日	入間西支部総会 (中止)	飯能市富士見地区行政センター
令和2年6月1日	比企支部総会 (中止)	東松山市松山市民活動センター
令和2年5月23日	秩父支部総会 (中止)	秩父市福祉女性会館
令和2年6月6日	児玉支部総会 (中止)	本庄市児玉文化会館 (セルディ)
令和2年6月14日	大里東支部総会 (中止)	熊谷市立江南総合文化会館 (ピピア)
令和2年5月23日	大里西支部総会 (中止)	深谷市男女共同参画推進センター
令和2年6月3日	北埼玉支部総会 (中止)	ワークヒルズ羽生
令和2年6月4日	埼玉南支部総会 (中止)	春日部市民文化会館
令和2年6月3日	埼玉北支部総会 (中止)	久喜市鷲宮東コミュニティセンター

(3) 事業・活動

前述の福利厚生事業を中心に、友の会会員のための福祉活動を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止によりすべて中止しました。

弘済会埼玉友の会だよりNo.65、No.66を発行し、広報活動をすすめました。

6. 弔慰金

死亡された教弘保険加入者 156 名の方へ生花と弔電またはご香料を贈ることにより弔慰を表しました。

支給額 1,641,750 円

7. (株)ツヴァイとの提携による結婚紹介

(株)ツヴァイと法人契約を結び、弘済会会員及びその家族が入会するときに、入会時初期費用が 11,000 円割引となります。

令和2年度末現在 697 名(累計)の方が入会され、302 人の方が成婚に至っています。

当支部には加入者の性別・年代のみ通知されることとなっており、加入者のプライバシーは厳重に守られています。

8. 損害保険事業

教職員にとって必要かつ有意義な補償である下記保険の販売に努めました。

- ・教弘まなびやスーパープラン
- ・教弘フルガード
- ・教職員収入ロングウェイサポート

IV 共済事業 (提携保険事業)

教弘保険の普及拡大が、教育の振興及び教育関係者の福祉向上に多大な貢献をしていることを踏まえ、加入促進に努めるため、当支部の趣旨及び事業に賛同する会員の拡大を図ります。

なお、業務は、提携保険会社及び株式会社埼玉教弘に委託しています。(別紙)

V 参事の活動

15名の参事が地区を分担し、学校や地区校長会等において、弘済会の諸事業やジブラルタ生命の状況を説明し、弘済会及びその事業に対する教職員の理解と支持を得よう努力しています。またジブラルタ生命との相互の協力体制の確立を目指して、ジブラルタ生命教弘担当営業職員(LC)の活動しやすい環境づくりに向けて努力を続けてきました。

年間で学校での事業説明会を530回、校長会等で119回、延べ649回実施し、説明・広報活動を行いました。

また、教育研究助成金決定通知書の伝達などにより、弘済会への理解と、LCの支援に努めてきました。

概ね毎月1回参事打合せを行い、弘済会の事業周知・教弘保険拡大・学校の状況・ジブラルタ生命各営業所の現況認識等について協議・研修してきました。

VI 広報活動

(公財)日教弘埼玉支部の事業の発展を目指し、「教弘会報埼玉」を発行し、教育的な共感によるよぶ記事を中心に、事業内容を幅広く紹介し、教弘保険加入者の一層の拡大を図る広報活動を推進しました。なお、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学校が臨時休業となったことなどを踏まえて、発行回数を当初計画の7回から6回へと変更しました。

1. 編集方針

- (1) 弘済会の事業の発展を目的とする。
- (2) 弘済会の事業内容を幅広く具体的に紹介する。
- (3) 生き生きとした教育に関する記事の掲載に努める。
- (4) 多くの教職員の記事を掲載し、親しみのもてる紙面づくりに努める。
- (5) 必要に応じて「教弘会報埼玉」の号外を発行する。
- (6) モニターの一層の活用を図る。
- (7) 「新型コロナウイルス」感染拡大に伴い、記事の見直し、変更を行う。

2. 作成広報物

(1) 「教弘会報埼玉」定期刊行物

号数	発行日 (部数)	主 な 内 容	
244 <small>(新年度スタート号)</small>	4月23日 (56,600)	支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内	4月から始まるカレンダー 寄居町立寄居中学校 令和2年(2020)度弘済会埼玉支部事業計画 教弘まなびやスーパープラン/新・教弘自動車保険
245 <small>(2020夏号)</small>	7月20日 (56,600)	支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内	「いつもと違う」夏休み～当たり前前に感謝～ 埼玉県立深谷はばたき特別支援学校 夏休みにライフプランを見直してみませんか? 頑張れ!!給付奨学生 令和2年度新運営委員・参事のご紹介 教弘まなびやスーパープラン/新・教弘自動車保険
246 <small>(芸術・読書・スポーツ)実りの秋号</small>	9月18日 (56,600)	副支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内	対応力 川越市立福原小学校 教弘保険のご案内/教弘保険の年末調整 新・教弘自動車保険/新築・リフォーム・住宅ローン情報

号数	発行日 (部数)	主 な 内 容	
247 (教育研究助 成特集号)	11月30日 (56,900)	常任幹事兼事務局長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	ファイト 越谷市立北中学校 夏クイズ 2020 クイズ当選者発表 令和2年度教育研究助成 2686 の学校・教育研究会などに助成金を贈呈 教弘まなびやスーパープラン/新・教弘自動車保険
248 (新年号)	1月12日 (56,900)	支部長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	当たり前は、実は奇跡的なこと 埼玉県立桶川西高等学校 教育実践報告並びに生涯学習実践作文表彰式 弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフルコンサート 令和3年度貸与奨学生を募集します
249 (早春号)	2月16日 (56,900)	副支部長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	校庭の木々は 鴻巣市立馬室小学校 予告新企画「映画観賞券」及び「渋沢栄一晴天を衝け 深谷大河ドラマ館入場」券贈呈 令和3年度「教育実践報告」募集について

(2) 「教弘会報埼玉点字版」	教弘会報埼玉発行時	各 10 部発行
(3) 「弘済会のご案内」	4 月	24,000 部発行
(4) 「宿泊施設の一覧」	4 月	86,000 部発行
(5) 「弘済会埼玉事業一覧」	4 月	90,000 部発行
(6) 「夏クイズ2020」	6 月	56,600 部発行
(7) 「弘済会埼玉友の会だより」 No.65	10 月	16,500 部発行
「弘済会埼玉友の会だより」 No.66	2 月	16,300 部発行

資料 1

令和2年度 教育振興事業選考委員会 委員名簿

氏 名	所 属 ・ 職 名
山本 和人	委員長 東京家政大学学長
大澤 初枝	副委員長 元さいたま市立大東小学校校長
赤松 峰親	元埼玉県立熊谷高等学校長
金田 佳子	元本庄市立北泉小学校長
野口 浩	元さいたま市立与野東中学校長
伊藤 えつ子	前埼玉県立八潮高等学校長

(順不同・敬称略)

資料 2

令和2年度 教育実践報告審査委員会 委員名簿

氏 名	所 属 ・ 職 名
薄井 俊二	委員長 国立大学法人 埼玉大学教育学部長
松本 誠	副委員長 埼玉県立総合教育センター総合企画長
福島 正男	鴻巣市立鴻巣東小学校長 (埼玉県公立小学校校長会副会長)
水野 義夫	加須市立加須西中学校長 (埼玉県中学校長会副会長)
加藤 浩	埼玉県立松山高等学校長 (埼玉県高等学校長協会副会長)
小佐野 雅子	埼玉県立上尾かしの木特別支援学校長 (埼玉県特別支援学校長会副会長)
三橋 勝美	埼玉県教職員組合書記局員
伊藤 稔	埼玉県高等学校教職員組合専門委員

(順不同・敬称略)

資料 3

令和2年度 生涯学習実践作文審査委員会委員

氏 名	職 等
山本 和人	委員長 東京家政大学学長
恩田 徹男	副委員長 元埼玉県教育局生涯学習部長
大磯 宏	埼玉県公立小学校校長会事務局長
渡邊 秀昭	元埼玉県立川口北高等学校長
小川 三代子	元加須市立三俣小学校長
伊地知 幸子	埼玉県PTA連合会事務局長
島崎 育夫	埼玉県高等学校PTA連合会事務局長

(順不同・敬称略)